

都市再生整備計画(第5回変更)

まるこちゅうしんしがいち
丸子中心市街地地区

ながの うえだし
長野県 上田市

平成27年 12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	上田市	地区名	丸子中心市街地 地区	面積	220 ha
計画期間	平成 23 年度	～	平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度	～	平成 27 年度

目標							
歩行空間の整備及び防災機能の向上による、市民が安全・安心に暮らせる市街地の形成							
目標1: 歩行者の安全性、避難所及び公共施設への交通利便性の向上を図る。							
目標2: 歩道のバリアフリー化を図り、子供からお年寄りが「安全に通行できる歩行空間を整備する。							
目標3: 排水路の整備改善により、水害に強い市街地を形成する。							

目標設定の根拠							
まちづくりの経緯及び現況							
<ul style="list-style-type: none"> ・旧丸子町は戦前から製糸工業により発展を遂げてきた歴史をもつが、現在は近代工業の町へと変化している。町の地形が依田川を挟んで平地が少ないこともあり、現在の工場は、かつての製糸工場の跡地を利用したものが多く、国道152号・市道下丸子腰越線に沿って設立された。ここはまた、住宅・商店・工場の混在地域となっており、交通の安全性が問題化している。 ・近年は車社会や市民生活の広域化、多様化などの社会情勢の影響を受け、市街地としての中心性や求心力が薄れ、地区の人口減少、既存商店街の空洞化が進んでいる。 ・当地区は旧丸子町の中心市街地として発展してきたところであり、公共施設、教育施設、病院などが集中的に立地している。 ・市街地の整備改善と商業等の活性化を一体的に推進するため、中心市街地活性化基本計画(H17)を策定された。同計画において、市街地の整備改善のため、道路・歩道の整備、防災体制の整備等を掲げ、その方向性が示された。 ・地区内の主な道路・用排水路は、一級河川依田川と平行し南北方向に整備されているが、東西方向の整備が遅れている。また、近年の集中豪雨によって、用排水路の越水が原因による冠水被害が多発している。 ・総合流域防災(砂防)事業が平成21年度から進められている。 							

課題							
<ul style="list-style-type: none"> ・交通量の多い箇所での通学路の歩道整備が遅れている。 ・災害時に避難所等に利用される公共施設への道路・歩道の整備が急務となっている。 ・既設歩道の老朽化が目立ち、段差等が多く、安全な歩行空間を確保する必要性が生じている。 ・用排水路の排水能力が集水面積に対し不足しており、流下能力の改善を早急に図る必要がある。 							

将来ビジョン(中長期)							
中心市街地活性化基本計画 ・中心市街地骨格道路の整備 ・中心市街地内における道路歩道の整備 ・歩行者ネットワークの構築 ・中心市街地防災基盤整備				上田市総合計画 ・日常生活の利便性を高めるための生活道路整備 ・歩行者等の安全確保 ・災害に強いまちづくりの推進			

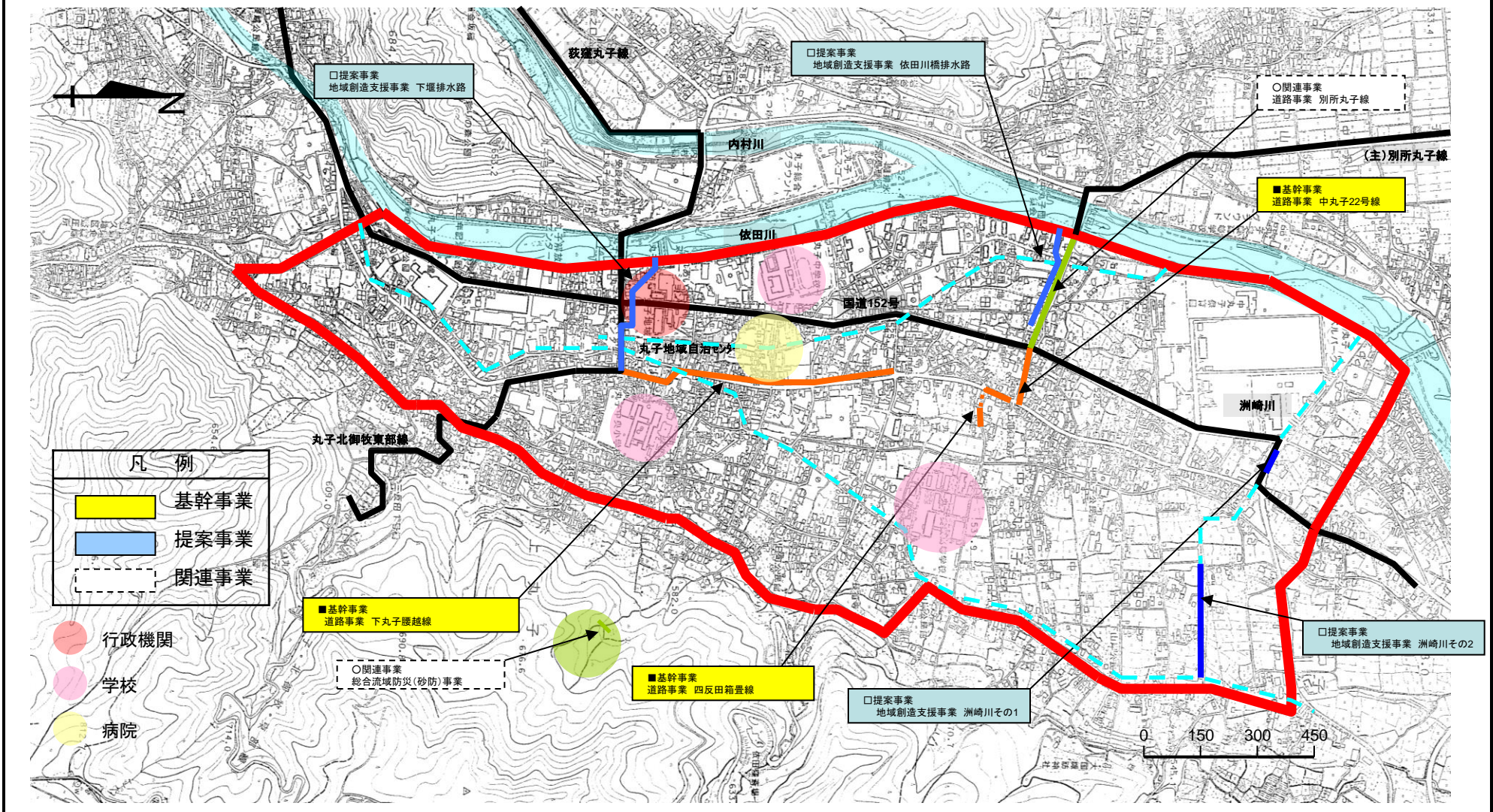
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度		
特定の道路の交通指数(混雑度)		交通量調査による数値算出	道路整備による交通利便性の向上	1.32	平成22年度	1.00	平成27年度
歩行者の歩きやすさ	%	地区内小学校等へのアンケート調査	歩行者の安全性、安全に通行できる歩行空間を整備	42	平成22年度	66	平成27年度
流下能力改善・整備率	%	主要排水路における流下能力不足箇所(10年確立)の改善・整備率	排水路の流下能力の改善を図り、水害に強い市街地を形成する	73	平成22年度	100	平成27年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>歩行者の安全性、避難所及び公共施設への交通利便性の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭少で危険な幹線市道の拡幅及び通学路の歩道整備を行い、渋滞及び危険箇所の改善を図る。 	<p>道路事業(基幹事業) 中丸子22号線 道路事業(基幹事業) 四反田箱置線 道路事業(関連事業) 別所丸子線 道路事業(関連事業) 茂沢音楽村線</p>
<p>歩道のバリアフリー化を図り、子供からお年寄りが「快適に通行できる歩行空間を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設歩道の段差解消及び歩道幅員の確保を行う。 ・通学路の歩道整備を行い危険箇所の改善を図る。 	<p>道路事業(基幹事業) 下丸子腰越線 道路事業(基幹事業) 中丸子22号線 道路事業(関連事業) 別所丸子線</p>
<p>排水路の整備改善により、水害に強い市街地を形成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設排水路の流下能力の向上。 ・排水路の新設。 	<p>地域創造支援事業 排水路整備(提案事業) 下堰排水路、依田川橋排水路 地域創造支援事業 排水路改修(提案事業) 洲崎川その1、洲崎川その2 砂防事業(関連事業) 八日町沢</p>
<p>その他</p> <p>事業終了後の住民等による継続的なまちづくり活動の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理、清掃等への住民等の参加。 	

丸子中心市街地地区(長野県上田市) 整備方針概要図

目標	歩行空間の整備及び防災機能向上による、市民が安全・安心に暮らせる市街地の形成	代表的な指標	特定の道路の交通指数・混雑度 ()	1.32 (22年度) →	1.00 (27年度)
			歩行者の歩きやすさ (%)	42 (22年度) →	66 (27年度)
			流下能力改善・整備率 (%)	73 (22年度) →	100 (27年度)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 丸子中心市街地地区 事業主体名: 上田市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○